

人権ふれあいセンター情報

みんなのしあわせ

令和2年10月1日
第4号 NO2
発行 千曲市人権
ふれあいセンター
TEL 273-3693

八月二十二日(土)第三回ふれあいセミナーを行いました。講師の戸倉小学校長 宮原明人先生のお話の全てはお伝えできませんが、概要を報告します。

フェイクニュースとは

虚偽情報とは

フェイクニュースとはニュース報道の体裁で拡散される虚偽の情報。最近では「コロナウイルスは熱に弱いのでお湯を飲むと殺菌効果がある」などの誤情報が流れた。ニュースの形に似たウソの情報は広く拡散する。こうした虚偽情報には様々な種類があり、拡散の目的も様々。ツイッターやフェイスブック、インスタグラムといったSNSを使って拡散力が増している。

認知の癖

人には認知の癖がある。『人は見たいように見る』(母校のチームの反則は見えない)『みんなと同じようにする』(大勢が白と言えば自分も白)『感情は伝わる』(もらい泣き)

こうした癖があることをわかっていくことが必要。

戸倉小学校長

宮原 明人さん

第3回ふれあいセミナー

「フェイクニュースとSNS」

SNSによる拡散・発信

嘘の拡散スピードは事実の拡散より二〇倍速いと言われる。SNSの中で人の『認知の癖』は増幅される。仲間の「いいね」に内容を確かめず「いいね」としたり、反対の意見を聞いても変わらなかったり、人の認知には限界があったりする。「いいね」やリツイートも賛同意見を示す表現行為。SNSを使うとき、読み手の権利や視点、自分の発信目的、発信内容をよく考えて発信したい。

みんなでファクトチェック

フェイクニュースを見抜くためには自分には『認知の癖』があることを知って、メディアの情報をうのみにせず、科学的な根拠があるか、だれが書いたかなど批判的に読み解くことが必要。

最新の情報をふまえ、大変わかりやすかったという感想が多くの方から寄せられました。リツイートなど気軽に発信にも気を付けなければという感想もありました。またお聞きできる機会があるとよいです。

ニュースやSNSを批判的に見る

- ・事実か、科学的根拠があるか
- ・誰が作り、その人を信頼できるか
- ・全体的に見て問題はないか
- ・誰に向けて書かれたものか
- ・この記事を作った目的は何か
- ・記事の完成度は優れているか

ニュースとジャーナリズムの博物館「Newseum」の教材を元に作成

